

第 94 回 地区内中小企業景気動向調査結果

(平成 24 年 4～6 月期実績・平成 24 年 7～9 月期見通し)

1. 調 査 時 点 平成 24 年 6 月 1 日～6 月 7 日

2. 調査対象企業数 174 社中回答 174 社 回答率 100.0%

区 分	調査対象企業の範囲	調査対象企業数	有効回答数	有効回答率 (%)
製 造 業	従業員 300 人以下	39	39	100.0
建 設 業	〃	43	43	100.0
卸 売 業	従業員 100 人以下	7	7	100.0
小 売 業	従業員 50 人以下	54	54	100.0
サ ー ビ ス 業	〃	31	31	100.0
合 計		174	174	100.0

3. 調 査 方 法

当金庫調査員の面接聞き取りによる感触調査です。

調査対象企業は、当金庫の営業区域（新冠町～広尾町）内に所在する企業とし、その抽出は、各業種・規模等の基本属性の構成が、調査対象母集団の属性に見合う一定基準に基づいて有意抽出で行っています。

4. 分 析 方 法

各質問項目で「増加（上昇）」したと回答した企業の全体に占める構成比と、「減少（下降）」したと回答した企業の全体に占める構成比との差（判断指数・D I 値）を中心にして分析を行っています。

なお、同時に信金中央金庫 地域・中小企業研究所が行う、全国調査結果と地区内との比較分析を行っています。

5. お問い合わせ先

日高信用金庫 業務部地域貢献課 (Tel. 0146-22-4114、内線 621)

〒057-0013 浦河郡浦河町大通 2 丁目 31 番地 2

全業種総合 174 企業（回答率 99.4%）の調査結果です

□ 概 況

今期（平成 24 年 4～6 月期）の業況判断 D I は $\Delta 44.7$ と、前期（平成 24 年 1～3 月期） $\Delta 56.3$ 比 11.6 ポイント上昇した。製造、卸、小売り、サービス業で改善の傾向がみられるが、建設業は前期比横ばいの値となっている。

売上額 D I $\Delta 24.1$ は、前期比 33.9 ポイント、収益 D I $\Delta 2.7$ は、同比 12.8 ポイントそれぞれ上昇している。売上額、収益は全業種で改善している。

来期（平成 24 年 7～9 月期）の予想業況判断 D I は $\Delta 32.8$ と、今期実績比 11.9 ポイントの上昇見通しとなっている。業種別にみると、製造 $\Delta 12.8$ 、建設 $\Delta 25.6$ 、卸売 $\Delta 28.6$ 、小売り $\Delta 40.7$ 、サービス $\Delta 54.8$ と来期を見通している。

【業種別天気図】

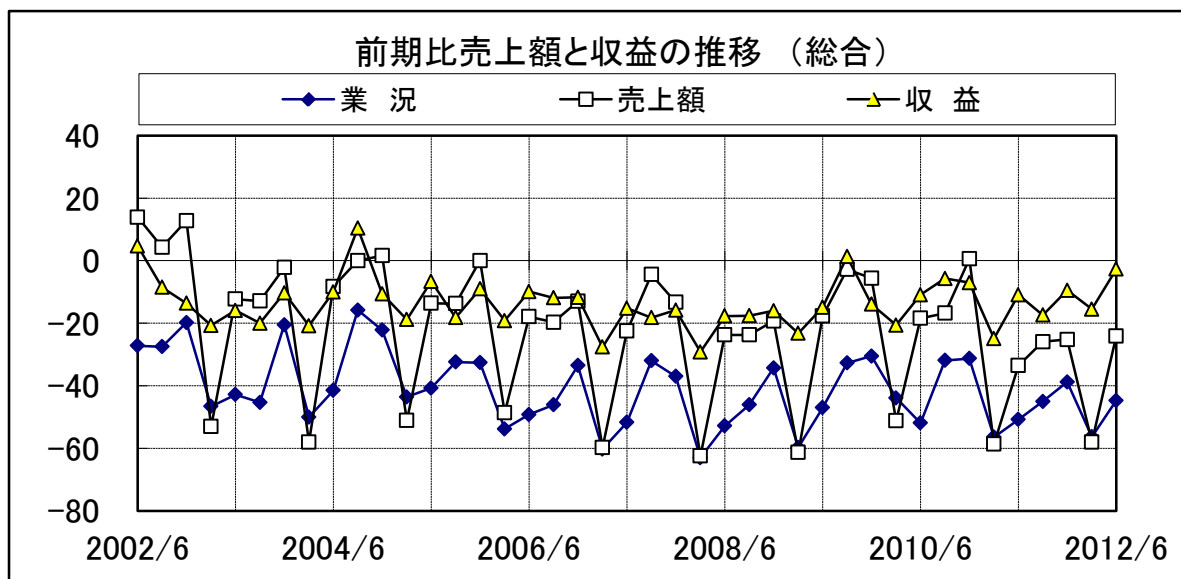
時期 業種	地 区 内				北 海 道	全 国
	23 年 10～12 月	24 年 1～3 月	24 年 4～6 月	24 年 7～9 月 見 通	当 期	当 期
総 合						
製 造 業						
建 設 業						
卸 売 業						
小 売 業						
サ ー ビ ス 業						
好調 ← → 低調 この天気図は、景気指標を総合判断して作成したものです。						

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業 況	-38.8	-56.3	-44.7	-32.8
売上額	-25.2	-58.0	-24.1	-12.0
収 益	-9.5	-15.5	-2.7	-19.5

全業種総合の今期の業況判断DIは△44.7と、前期比11.6ポイント上昇した。地区別にみると、浦河地区で下降、他の地区は上昇している。

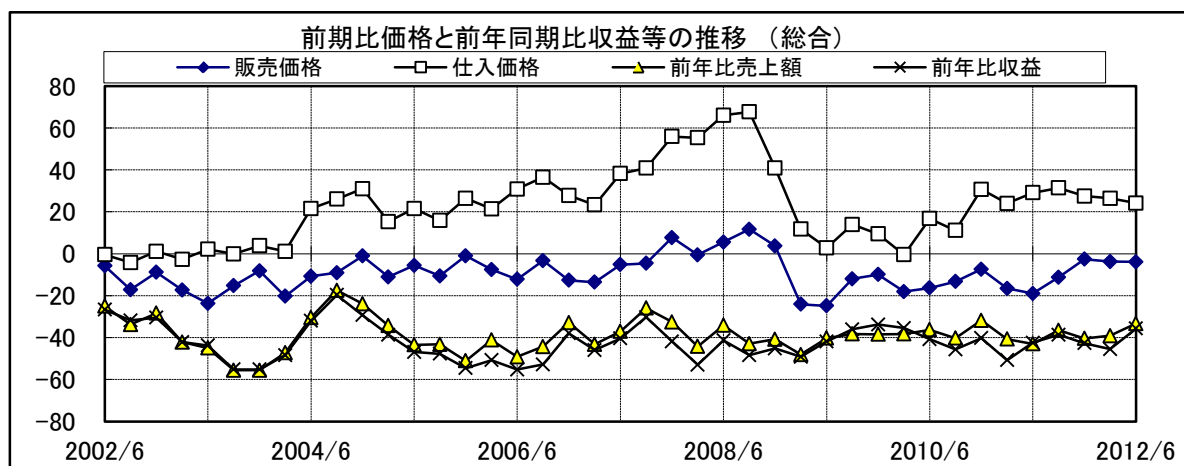
売上額判断DI△24.1は前期比33.9ポイント上昇した。収益判断DI△2.7も同比12.8ポイント上昇した。



□ 価格面、前年同期に比べた動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
販売価格	-2.6	-3.8	-3.9	-11.4
仕入価格	27.5	26.4	24.1	11.4

販売価格判断DIは△3.9と、前期比0.1ポイント下降したものの、ほぼ横ばいで推移している。仕入価格判断DIは24.1と、前期比2.3ポイント下降、価格上昇基調を弱めている。業種別にみると、販売価格は製造、建設、卸売、サービスで上昇し、小売で下降した。仕入価格は、製造、卸売で上昇し、小売、サービスで下降した。建設は、ほぼ横ばいの値となっている。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	-5.6	-18.4	-17.3	-8.6
人手状況	-10.7	5.2	0.0	-10.3

残業時間判断DIは△17.3と、前期比1.1ポイント上昇し、残業時間が減少したとする企業割合が減少した。

人手過不足判断DIはゼロ水準となり、前期比5.2ポイント減少した。人手過剰感は解消した。

□ 設備投資の動き

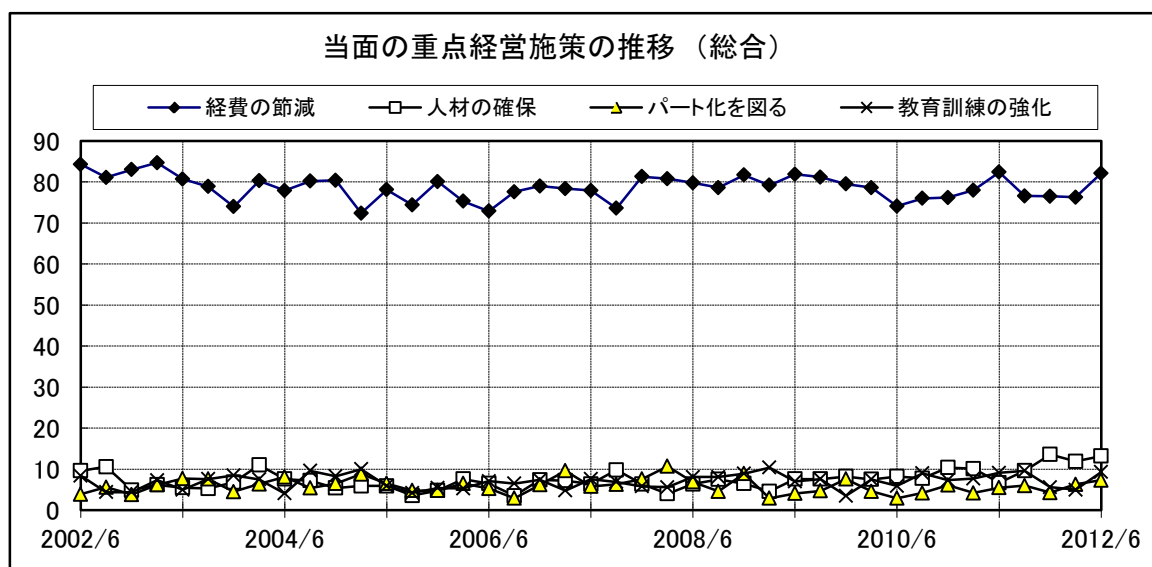
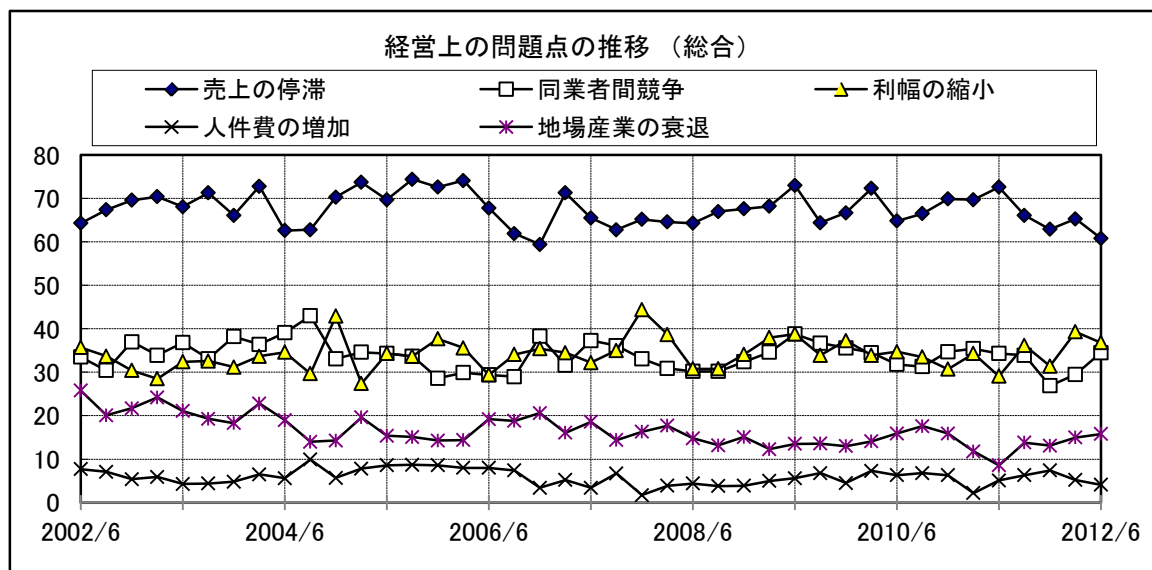
設備投資の充足感を示すD Iは△10.9 と、前期△12.1 から1.2 ポイント上昇、不足感を弱めている。

設備投資実施企業割合は21.3%と、前期16.7%から4.6 ポイント上昇。件数で前期の29社に対し37社の実施となった。来期の設備投資は、31社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上の停滞減少」が60.8%で最も多く、次いで「利幅の縮小」36.8%、「同業者間との競合」34.5%、「地場産業の衰退」15.8%と続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」が82.1%で突出している。次いで「人材の確保」13.2%、「教育訓練強化」9.3%、「パート化を図る」7.3%、「不動産の有効活用」4.0%の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△32.8 と、今期△44.7 と比べ11.9 ポイント上昇の見通しとなっている。

予想売上額判断D Iは△12.0 と、今期△24.1 と比べ12.1 ポイント上昇の見通しとなっている。予想収益判断D Iは△19.5 と、今期△2.7 と比べ16.8 ポイントの下降を見通している。予想販売価格判断D I △11.4 は、今期△3.9 と比べ7.5 ポイント下降、価格低下基調が強まる見通しとなっている。一方、予想仕入価格判断D Iは11.4 と、今期24.1 と比べ12.7 ポイント下降、価格上昇基調が弱まる見通しとなっている。

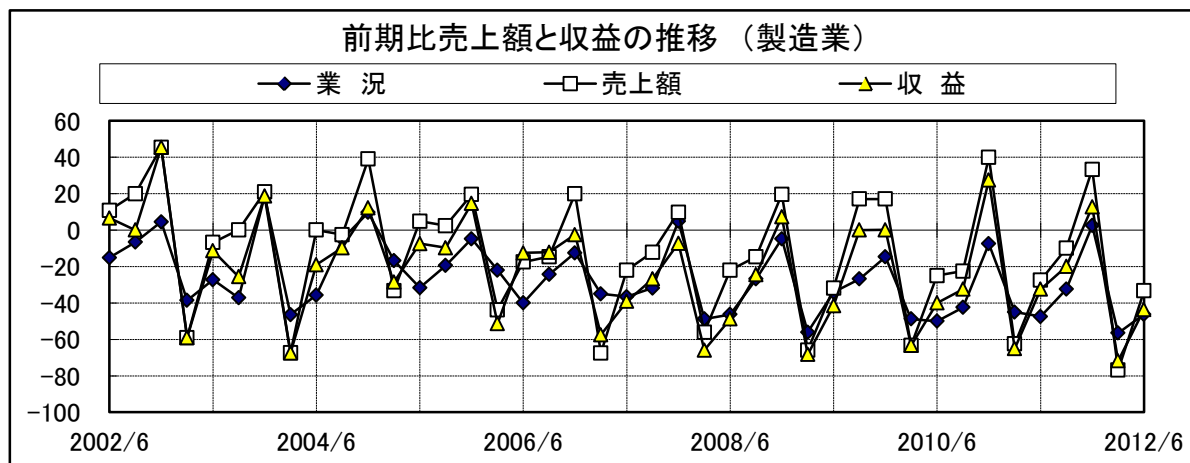
製造業 39 企業（回答率 100.0%）の調査結果です

□ 景 況

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
業 況	2.5	-56.5	-46.2	-12.8
売上額	33.3	-76.9	-33.3	0.0
収 益	12.8	-71.8	-43.6	-12.9

今期の業況判断DIは△46.2と、前期比10.3ポイント上昇した。浦河、えりも、広尾地区で上昇し、三石地区で下降している。静内、様似地区は横ばいとなっている。

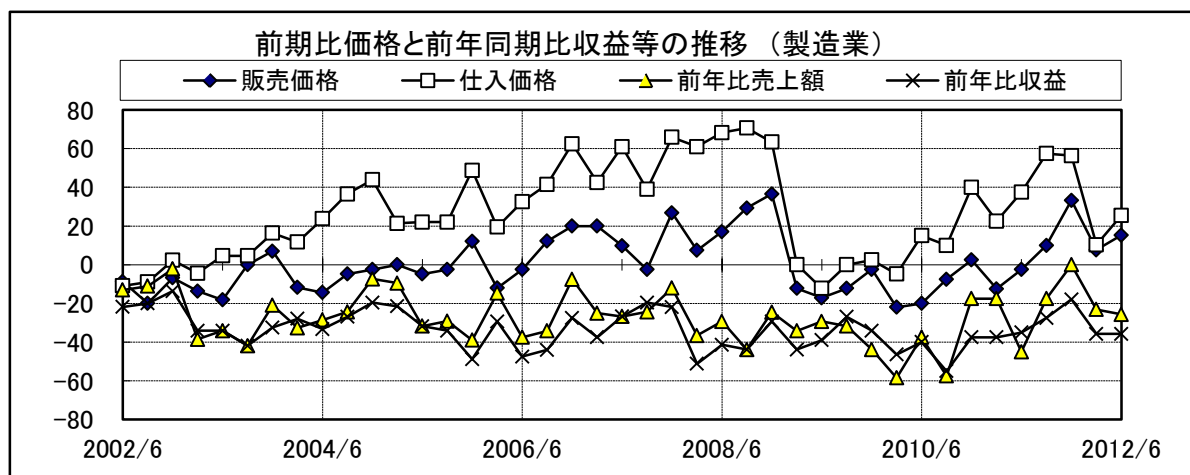
売上額判断DIは△33.3と、前期比43.6ポイント、収益判断DI△43.6は、同比28.2ポイント上昇した。



□ 価格面の動き・前年同期に比した動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
販売価格	33.3	7.7	15.3	-5.1
仕入価格	56.4	10.3	25.5	0.0

販売価格判断DIは15.3と、前期比7.6ポイントの上昇、仕入価格判断DIは25.5と、前期比15.2ポイントの上昇で、それぞれ価格上昇基調を強めている。業種別にみると、食品が販売価格、仕入価格ともに上昇し、木材の販売価格は横ばい、仕入価格は上昇している。



□ 雇用面の動き

DI 値 の推移	10～12月 期実績	1～3月 期実績	4～6月 期実績	7～9月 期見通し
残業時間	23.0	-25.6	-20.4	0.0
人手状況	-23.1	10.2	2.6	-12.7

残業時間判断DIは△20.4と、前期比5.2ポイント上昇。残業時間が減少したとする企業割合が減少した。人手過不足判断DIは2.6と、前期比7.6ポイントの下降で、人手過剰感を弱めている。

□ 設備投資の動き

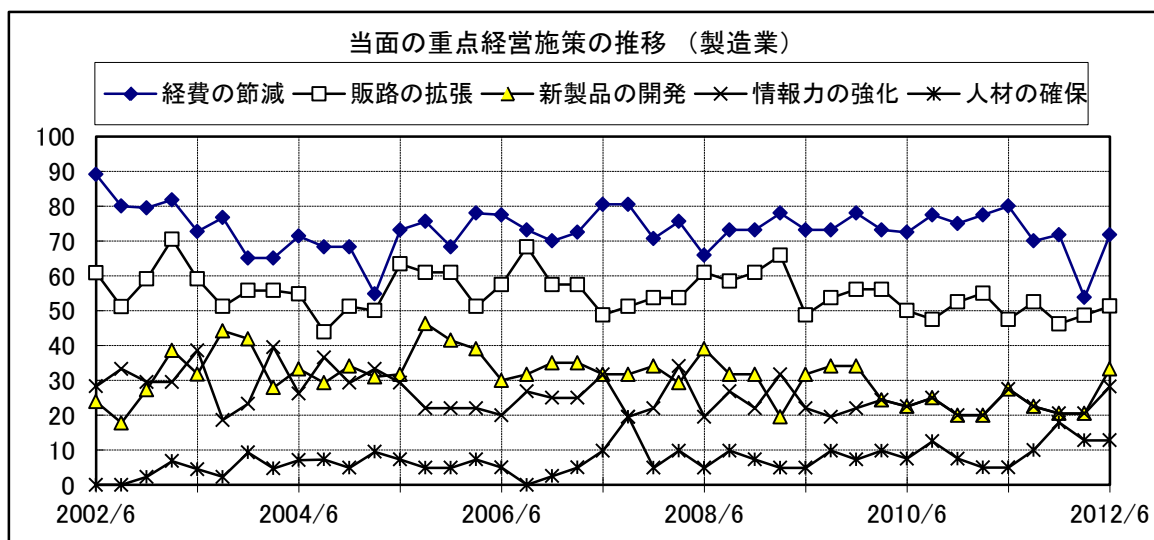
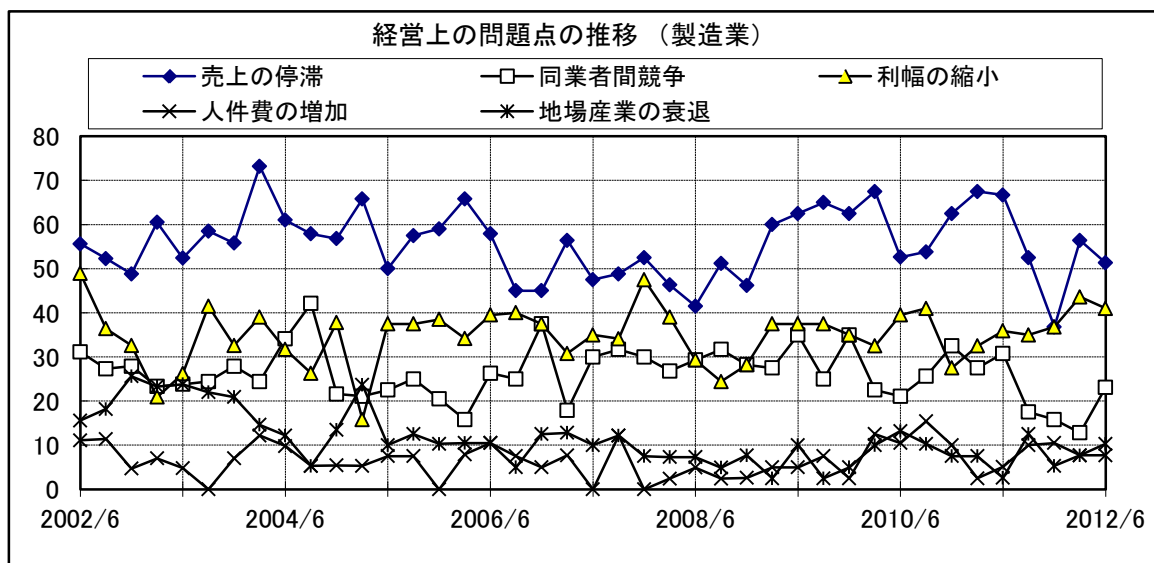
設備投資の充足感を示すD Iは△15.4と、前期△20.5から、5.1ポイント上昇、不足感を弱めている。

設備投資実施企業割合は30.8%と、前期17.9%から12.9ポイント上昇した。件数で前期の7社に対し12社の実施となった。来期の設備投資は、7社の予定となっている。

□ 経営上の問題点と重点経営施策

経営上の問題点は、「売上停滞減少」をトップに挙げ51.3%、次いで「利幅の縮小」41.0%、「原材料高」38.5%、「工場機械の老朽化」が25.6%と続いている。

重点経営施策では、「経費の節減」をトップに挙げ71.8%、次いで「販路の拡張」51.3%、「新製品を開発する」33.3%、「情報力を強化する」28.2%、「人材を確保する」12.8%の順となっている。



□ 来期の見通し

来期の予想業況判断D Iは△12.8と、今期△46.2と比べ33.4ポイントの上昇見通しとなっている。予想売上額判断D I 0.0は、今期と比べ、33.3ポイントの上昇を見通している。また、予想収益D Iも△12.9と、今期△43.6と比べ、30.7ポイントの上昇見通しとなっている。予想販売価格判断D Iは△5.1と、今期15.3と比べ20.4ポイント下降し、価格低下基調が強まる見通しとなっている。予想仕入価格判断D I 0.0も、今期から25.5ポイント下降する見通しとなっている。